

あさひかわ

西高通信

Vol.34

発行: 旭川西高東京同窓会

事務局: 東京都台東区元浅草2-10-17 荒川気付

ホームページ: 旭川西高東京同窓会.jp

旭川に高女 心々の声



第1回入学生
1907年(明治40年)

110年



ごあいさつ

第36回旭川西高東京同窓会 実行委員長

山本 省吾 15期

旭川西高東京同窓会第36回総会はハイアットリージェンシー東京にて開催することとなりました。今回は10期、15期、20期、25期生が実行委員を構成し「あいつ、今何してる？

～友を、西高を語ろう～」をメインテーマに、多くの同窓生が参加し楽しんでいただけるよう準備を進めて参りました。

前回は椿山荘にて開催され、300名以上の同窓生の出席をいただき盛大に行われましたが、30期以降の同窓生の参加が少なくなっています。会を盛り上げるには若い世代の方々の参加が欠かせません。同じ高校を卒業した者同士、世代を超えて語り合える場でもあります。若い皆様、是非ご参加ください。

今回はご参加の皆様楽しんでいただくべく桐朋学園芸術短期大学専攻科1年に在籍しています、65期の村岡奈々さんとお仲間の演奏を企画いたしました。素晴らしい演奏をお聴きいただけます。多数の皆さまのご参集をお待ちしています。

実施要項

第36回旭川西高東京同窓会 2018年4月7日(土)

- 時間 / 12:30～15:00(受付11:30)
- 会場 / ハイアットリージェンシー東京(西新宿)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2
TEL. (03)3348-1234
アクセス・新宿駅西口より徒歩約9分
・地下鉄大江戸線都庁前駅A7出口
C4連絡通路経由で徒歩1分
- 会費 / 一般会員 8,000円
40歳代(37期～46期) 5,000円
20～30歳代(47期～66期) 2,000円
20歳未満・現役学生(学生証提示) 無料
※年会費として別途1,000円徴収

第36回西高東京同窓会に向けて



旭川西高東京同窓会会長 荒川 繁

昨年9月23日、旭川西高創立百十周年記念式典に参加して参りました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、少し我が校の歴史を振り返ってみたいと思います。

明治40年3月北海道庁立上川高等女学校として開校しました。それから43年後の昭和25年北海道旭川西高等学校と改称し、男女共学となりました。昭和46年10月川端に移転しました。今の校舎は、川端で二代目の校舎となります。そして開校から百十周年を迎えたわけです。歴史の重みを強く感じたのと同時に、これからの未来にむけて西高の良き魂が繋がって行く事をどれほど応援できるだろうかと思いました。東京同窓会としても、今まで以上に川端に目を向けたいと思います。式典の後、遠藤校長と東京に就学する卒業生へのコンタクト方法や、次回の鈴蘭塾の開催、更に部活動の活動状況等の打ち合わせを行いました。その折に校長ご自身が調べられたお話として、常盤公園の野球グラウンドは元々西高のモノであったと言っています。常盤公園は旭川市で、グラウンドは道庁管轄という状態があり、いつの間にかグラウンドが公園の一部として合体したということです。次回総会にも、遠藤校長は参加されますので、是非このお話をお披露目して頂くと思います。私自身体育の時間のソフトボールは、常盤公園のグラウンドで行った世代です。

これも百十年の歴史の一部だと思えます。また、校長との話の中で、今の現役西高生についてお話になったことは、みな素直で明るく、他人に優しい頑張り屋さんだそうです。今後、素直な西高生たちを皆さんと一緒に応援し続けたいと思います。



旭川西高等学校校長 遠藤 孝一

旭川西高東京同窓会の皆さま、日頃から生徒達へのご支援、ご声援をいただき、ありがとうございます。特に平成29年度は、開校110周年を迎え、記念行事等に多大なご協力をいただきました。衷心よりお礼申し上げます。さて、この機会に学校の様子を少しお知らせいたします。スーパースイートハイスクールの事業は通算8年になり、全校で取り組んでいます。探究活動やその発表会など、生徒が探究する力を身につけ、社会に羽ばたく準備を進めています。

昨春の進路状況は、国立公立大学に78名、私立大学に212名合格しました。部活動では、体操・ソフトテニス・陸上・バドミントン・放送・文芸・美術・書道・写真・演劇の各部が全道大会に進出し、写真部と書道部は平成30年度の全国高校総合文化祭に出場することが決まっています。まさに文武両道の活躍です。今後とも生徒たちへの応援よろしくお願いいたします。



旭川西高同窓会会長 高野 正夫

昨年10月23日、大雪が降りました。朝9時頃から降り始め、夜半11時頃まで約10cm程降り、タイヤ交換で大変慌ただしい一日となり、まあ翌日は暖気で溶けました。早い冬將軍の到来です。東京の方も寒暖の差が激しい様ですが、皆様、益々ご健勝の事と存じお慶び申し上げます。

先般9月23日、学校に於いて創立110周年記念式典並びに記念講演を開催、その後ホテルにて祝賀会(同窓会も併行)も盛大に行われました。東京同窓会そして皆様からご支援を受けた賜物であります。誠に有難うございました。心より感謝を申し上げます。

記念講演は、同窓生として、チームナックスのリーダー森崎博之君を招き、生徒たちに未来の人生にプラスになればと思い、チームナックスの歴史と故郷東川(西高)札幌(日本)へと視野を拡げて北海道の食文化を中心とした彼の話に生徒たちは引き込まれ、共感し、心を動かされたと思います。その中でリーダーとしての資質、考え方、人の接し方等々、感じ取ってくれた事と確信しています。そして彼等も将来、色々な分野でリーダーとして育っていくことを願う次第です。それでは4月7日、新宿ハイアット・リージェンシーホテルにて、「あいつ、何してる? 語ろうゆつたり同窓会」楽しみにしております。又会いましょう。皆様そしてご家族のご健康とご幸福を心よりお祈りいたします。

招待恩師から



同窓会副会長 恩師 9期 小林 茂

7月の暑い夕方、東京から電話「卒業生の毛利です! 私は「工か!」49年会っていないが、3年間担任であつたので顔が浮かんだ。

東京同窓会の案内でとても嬉しかった。それから8月9月3度電話をもらい、原稿を忘れないよう写真も10月までにと、よっぽど頼りない担任だったことが伺える、その通りで生徒の方がしっかりしていたのは事実で、赤面の至りである。

西高「体操部」にあこがれ入学、そのうちS41(4)H4勤務させていたできました。

15回の全道優勝・H元年国民体育大会で「日本」は、よき生徒に恵まれてのことでした。

OB・OG会が110周年の日に「日本」記念モノメントを同窓会館敷地に建立された。

運動部の中で「日本」は体操部しかないのだと、運動部の活性化を願ったものである。

110周年のお祝いには、荒川東京会長も出席され、元気で澁刺な姿を見せてくれました。とにかく6か月先の東京同窓会を夢に見て待ちます。



恩師 山本 勇

すてきな「十年春秋」とせはるあき

西高には、大学出たての昭和38年から約10年間いました。当然、教員としては未熟でスキマだらけ。授業に行き詰まり、青空教室と称して常盤公園へ脱出したり、漫談や怪談や猥談に精を出したり、まあ周囲には迷惑をかけたつづけたが、当時の先輩・同輩の先生方も生徒諸君も実におおらかで、あたたかく(?)支えてくれました。

おかげで、いつどこで何に力を入れ、いつどこでどう抜くべきなのか、身をもって学ぶことができました。このことは、その後のわが教員人生、いや人生そのもののあり方を規定したといえます。みのりある濃厚な「十年春秋」でありました。感謝あるのみです。

まもなく喜寿を迎えるに至り、老いは着実に進んでいます。が、今なお、先生方への研究助成金や生徒への奨学金などを扱う教育系の公益財団法人で汗を流しています。このこともあの西高での素敵な日々への恩返しといえるかもしれません。

「歌う看護師」瀬川あやかさん(61期)

都内の病院に勤務しながら、異色の二刀流シンガーとして活躍が期待されている61期の25歳です。10月6日、代官山のライブハウスでは、のびやかな歌声と軽妙なトークで会場を沸かせていました。



それぞれに催し物を行う等、先輩・後輩関係なく仲良くなれたのも魅力でした。その間は、電車通学だった私には(終電で夜中に帰り、また四時半に起きる)過酷な日々でした。同級生の元「乃木坂46」の橋本奈々未さんとは仲の良い友達であり、当時からオーラもあり、彼女の活躍はとても刺激になりました。

●大学は看護師を目指してですが

進学の志望校選択の際には、看護師の国家試験合格率等を調べ、「首都大学東京」を目標にして先生に相談した所「行けるのか?」の一言で「悔しい」と思い頑張った負けず嫌いです。一年生の時に、大学祭のミスコンで準グランプリに選ばれ、今の事務所から声が掛り、シンガーソングライターの道に。四年生の大学祭でオリジナル曲をひたして、初めてのライブでした。看護師国家試験にも無事合格し、本格的に活動を開始しました。2016年6月「夢日和」でメジャーデビューを果たしました。

●ミュージックフェアに出演してはどうでしたか

名だたる大御所(布施明、氷川きよし他)の方々に囲まれて、ドキドキしましたが、同時に自覚や責任感が強く芽生えました。「ここに立てる幸せ」を感じながらも「負けないぐらいパフォーマンスを」と、テレビの向こうまでパワーを届けたいと無我夢中でした。

●両立しているこうとおもったのは

病院での実習で、患者さんの好きな「ソラン節」を歌った時、その掛け声に合わせて自分で起き上がり、自ら動かそうとした姿に音楽の力を感じ、音楽を医療の現場に生かしたいと思った瞬間です。今は週三日病院勤務、あとはライブを年50回ぐらい行っています。どっちつかずと言われないように、続けていきたいです。

昨年は旭川の冬祭りや、雪像の上で歌いましたが、寒さでギターの弦が切れてしまつて弾かず。サイン会は、手がかじかんで上手く書けませんでした。北海道での仕事も増えましたが、やはり故郷の富良野で自分の企画したライブを行いたいと思っています。

★日経レジャカフェ(大学生向け情報サイト)に「歌う看護師」として連載中。エールを送っています。



CD:2017年8月発売
『Have a good day! / どんなに...』

旭川西高体操部「日本一記念」モニュメント完成

<https://www.youtube.com/watch?v=SCPEVNplxzg>

体操部OB 23期 木村 肇



旭川西高体操部「日本一記念」モニュメントが完成いたしましたので、紹介させて頂きました。29年9月23日(土)に旭川西高創立110周年記念式典が行われた前の12時に高野旭川同窓会長ご参列のもと、西高体操部OB・OG東京支部会5名も参列して除幕式が開催されました。このモニュメントは平成元年の「はまなす国体」(北海道)において、小林先生(9期)監督のもと、40期・41期の体操部員が、少年男子新体操の部で見事優勝(日本一)し、この活躍を記念すると共に、この偉業を次の世代に残すことを目的とし、旭川西高に隣接する同窓会館横に設置されました。

平成29年度リンケージアワード受賞

吹奏楽部部长 宮川野 愛



この度、このような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。私たち吹奏楽部員は、1年生27名、2年生27名、3年生11名の計65名で活動しております。今の時期は3年生が受験シーズン真只中で仮引退中という形を取っていますが、3月末の定期演奏会で高校生活の締めくくりとして、全員揃っての演奏となります。この演奏会出演によって、3年生は正式な引退となります。先輩方は、受験という最大の目標に向けて懸命に努力しています。一方、1、2年生は11月に入り数多くの演奏会に出演し、また予定しております。

○11月3日(金)
フレッシュコンサート(近文小学校)
旭川盲学校訪問演奏会
○11月25日(土)
西イオンモール招待演奏 等
今後ともこの賞に見合った活動を展開していきたいと部員一同張り切っています。

機会がありましたら、演奏会の方にもお越しただければ幸いです。今後とも旭川西高吹奏楽部をよろしく願います。



26期 杉本智子

高校卒業後、東京にての生活を終え1981年に米国・ロサンゼルスに主人と渡り現在に至ります。今年久しぶりに帰省した際にお会いした25期の先輩より今回の『西・高通信』への寄稿の機会を頂きました。『あいつ今何してる?』のテーマなどの事何を書いたら?『L.Aで御神輿担いでます!』(もちろん趣味で...)1994年発足の『羅府睦会』と言うお祭り好きの集まりに所属しておりL.Aやラスベガス、又各地で行われる日系のお祭りに参加して楽しんでおります。西高時代の友人達と抱けたら...楽しいだらうなあ。



6期 黒田盛彦

旧師団の街旭川。小中(日章・常盤)、旭橋、常盤公園遊び場、華の平和通り族を自負。西高入学同期368名。汽車通の言葉に驚き直ぐ友達になり、近郊町村の道産子と交わり切磋琢磨した事が人生の貴重な一ページになった。部活は柔道部、現在廃部残念。放課後練習前、同期理寛寺君(美瑛)が体育館に来て畳60枚を毎日黙々と敷いていた、その姿に道産子魂を垣間見た。卒業後会っていない。大学で上京、「内地者」になり62年になる。東京総会で、主将横峯(5期、建築設計の成功者、秋山7期)と会い、東京柔道部OB会を立上げ22年になる。現在、河野18期が会長で会を纏めている。感謝。地元同期会も常時35名位で(H29)傘寿(80才)で最後になった。執行部に感謝。鬼籍40数名合掌し、今後東京総会で6期20名位と「あいつ元氣か!!」を合言葉に、吉崎君を期の要として旧交を温めて行きたい。

あいつ今何してる?

～友を 西高を語ろう～



65期 斎藤友哉

2015年卒、現、法政大学社会学部にてメディア社会学を学んでおります斎藤友哉です。現在、マスコミ業界で働くことを志望し、日々精進しています。今を生きている中で、旭川西高校で学んだことは大いに私に影響を与えてくれています。学校祭で、ブロックリーダーを務め、自分の感情で行動するのではなく、相手の気持ちに立つて行動する大切さを学べました。また一つの物事を作るにはみんなで作る必要があるという単純ではあるが本当に大切な一面を考えることもできました。サッカー部に所属し、監督が不在の中でもみんなが切磋琢磨し、勝利を目指すことでどんな小さい場所でも懸命に努力し、現状を言い訳にせず、挑戦し続ける人間として大事なスピリットを得ました。誰もが通る高校生活の中でも旭川西高校で全力で生活していれば当たり前の生活でもありがとうの気持ち忘れられない人間に育つことができました。

35期 島山昌子

西高の記憶といえば美術室での時間が深く思い出される。三年間美術部に所属した。どちらかというと内向的だった私にとって、自分の内側の世界を探りしながらか好きな絵を描いていられる美術室は居心地がよかった。当時の美術の先生は南蔵衛先生と川口幸和先生。両先生は私の人生に於いて初めて出会った「画家」でもあった。そして、原爆の図で知られる偉大な画家、丸木俊さんが西高の大先輩であることを知ったのもこの頃だった。卒業後、私は女子美術短期大学へとすみ美術の道へ足を踏み入れることになる。紆余曲折ありながらも絵を描き続けて今に至る。現在は美術団体の春陽会に所属し、毎年四月に国立新美術館で開催の「春陽展」、その他個展、グループ展などで作品を発表している。二〇一七年には東京都美術館主催「都美セレクション」新鋭作家2017に出展という夢のような幸運にも恵まれた。この先も絵の道は永く遠い。その出発点が西高美術室だった。



18期 宮川次郎

旭川丸井、そして丸井閉店後は西武でメイシレストランとして親しまれた「巴里食堂」を旭川市民なら誰もが記憶していることでした。そのオーナーシェフが18期森山隆さんです。国内外で研鑽後、花月会館の西洋料理長に。花月会館の総料理長を長く勤めた後、丸井デパートで巴里食堂を開業。シェフのコートを脱ぎ、自らフライパンを操ることに。幅広い年齢層に愛され、丸井閉店を乗り越え、誰もがくつろげる店へと努力を重ねる中で又もやの西武閉店。しかし、再開を求める声に励まされての新店舗探しの日々の中、閉館したユーカー館の中で、唯一「新経営者」のもと、新しいコンセプトで営業中の雪の美術館からオファーがあり、「自分の経験が役に立つなら」と厨房に入ること。今は雪の美術館は旭川の貴重な文化遺産。ここで真摯で有能な若い人たちが働けることが楽しくて仕方がないとのこと。同窓生の皆さんも、雪の美術館の「カフェレストランスノーナ」で美味しいランチをぜひ一度。



森山隆さん

25期 谷川博文

甲子園の季節です。TV観戦をしていてよく思い出す二年の夏。我が校は北海道旭川地区予選代表決定戦へ進み、全校応援となりました。対するは強豪、旭川龍谷。三年生エース久保さんの好投と打線の粘りで延長十三回までもつれましたが、残念ながら北海道出場は叶いませんでした。勝った旭川龍谷は甲子園で三回戦進出。あの試合に勝てればと思ったものです。この接戦の最中、得点にはならなかったが、セカンドへのポップフライに「オーライ!オーライ!」と声を上げ、グラブを構えた君の後ろにボールが弾んだワンカットが蘇ります。一緒によく麻雀もした3年5組の伊部君。甲子園大会を観戦しているのかな。



65期 佐々木亮太

私は現在、日本大学法学部に通っています。サークルは高校時代から始めた陸上を続けています。私のイメージでは、サークルはとてもゆるいものだと思っていたのですが、実際は高校の時よりも練習がハードで、チームメイトもインターハイ選手がいたりなど、ゆるいの「ゆ」の字もありませんでした。ですが、チームメイトはとても面白い人達ばかりなので、とても充実しています。またバイトは東京ドームのイベントスタッフをしています。バイトの時間は長いですが、仕事がとても特殊で、毎回仕事内容が異なるので、毎回とても新鮮です。現在私は3年生で、学校では就職セミナーなどがたくさんあり、大変ですが、めげずに頑張っています。



65期 齋藤綾

こんにちは。2年前に旭川西高を卒業し、現在創価大学に在学中の齋藤綾(さいとうりょう)と申します。西高がどうだったかと今振り返ってみると、かなり居心地の良い学校だったのではないかと感じています。何かを全体で成し遂げようという目標があったときに、それを達成するときの団結力というものは凄まじいものでした。全力で楽しみ、全力で息抜きできる、なんとも不思議な学校生活でした。今現在大学で英語を学問的に学んでおり、オンライン英会話会社の社員または語学学校の運営職に就きたく日々勉強しています。写真はサークルでの活動ですが、毎回新たな発見があり非常に充実しております。最後となりますが、お忙しい中こういった機会をくださった旭川西高東京同窓会の実行委員の皆様、大変にありがとうございました。



65期 村岡奈々

西高を卒業して早いもので3年が経ち、慣れない東京での生活にも少しだけ余裕が出てきたように思います。高校在学中は東京に出ることなんて考えもしなかった私が、何かの縁で上京し勉強している分野は音楽です。桐朋学園芸術短期大学という学校でピアノを専攻し、コンクールやオーディション、実技試験などに向けて日々練習に励んでいます。練習も本番も孤独なピアノという楽器ですが特に寂しい思いをすることなく生活できているのは、一緒に旭川から上京してきた西高時代の仲間がいるからだと思います。この東京の地でこうして集まっている時間は何にも代え難く、いつか母が言っていた「高校時代の友達は一生物だから大事にしないさいよ。」という言葉思い出しては痛感する毎日です。





と、昭和33年全道高体連男子団体・ダブルス優勝、昭和40年・41年度と準優勝。昭和51年度には、女子ダブルス・個人と、全道優勝をしています。その他、数々の成績を残しています。これからも、母校の発展の為に協力していきたいと思っています。

旭川西高校卓球部OB会 創立50周年

27期 久保村 茂樹

昨年6月17日に、50周年祝賀会をさせて頂きました。出席者は34名でしたが、昔の思い出話に花が咲き、有意義な祝賀会になりました。

私は、昭和49年に西高に入学し、卓球部に入った時には、毎日の様にOBの皆様が教えに来て頂きました。それがとても嬉しかったのを憶えています。先輩から「OBの方が来てくれる事は、強くなる見込みと期待があるから来てくれるんだ」と教えて頂いていたからです。あの頃は、教えて頂いた事、先生から指導を頂いた事に何の疑いもなく純粋に受け入れていました。今思い出してもあんなに純粋で一生懸命だった時間は無かった様に思います。卓球を教え、導いて下さいました先生、先輩の方々に感謝致しお礼を申し上げたいと思います。

OB会は、昭和41年に創立され、今日まで後輩の指導及び西高卓球部の発展のために貢献をして参りました。また、旭川卓球協会発展のために役員としてご協力もさせて頂いています。卓球部の足跡をみま

旭川西高校札幌 第34回定期総会

24期 桑瀬 奈緒美

「あのとき……みんな……18歳だったね！」をテーマに、7月8日（土）、17時30分よりホテル札幌ガーデンパレスにおいて、第34回定期総会が行われました。来賓（旭川西高校校長、同窓会会長、東京同窓会会長）と3名の恩師、又新しい参加者8名を迎え、2期生から34期生までの85名が集う総会は、西高生の吹奏楽部演奏のDVDによって始まり、全員で校歌を斉唱し、懐かしさを覚えながらの閉会となりました。懇親会では、クイズ合戦、おたのしみ抽選会が行われ、大いに盛り上がる中、14期薄島正幹事の音頭により、再会の約束をし、来賓、恩師、遠方から来られた方をアーチでお見送りしながらの散会でした。

今回の出席においては、幹事の方々の多大なる働きを感じ、「私たち、常に人との関わりの中で生かされている。」ということをも改めて実感しました。この日の出会いを大切に、又、来年、お会いしたいという思いを心に秘め、一年間歩んで行きたいと感じさせられながらの帰途でした。



旭川西高校創立110周年 記念式典

25期 世木澤 実

平成29年9月23日午後1時より、北海道旭川西高等学校体育館にて創立110周年記念式典が開催されました。

約850名が参列した記念式典は、厳粛でありながら和やかな空気の中終了しました。

記念式典終了後、記念事業として40期卒の森崎博之氏による講演会が行われました。西高時代の思い出、「チームナックス」リーダーとしてのリーダー論、北海道の食に関する蘊蓄など多岐にわたる講演でした。和気あいあいの雰囲気の中、最後は校歌を合唱しました。

午後5時30分からアイトホテルにて行われた祝賀会では約420名が出席しました。上川高等女学校以来110年の歴史がスライドで流される中楽しい祝賀会でした。最後に東京同窓会荒川会長に三本締めで締めていただき、祝賀会も無事終了しました。

以上、創立110周年記念行事及び記念事業のご報告とさせていただきます。



特定非営利活動法人
航空フォーラム
エアー・データ株式会社



RUBBER SOUL

24期
久保村 正規
Masaki Kubomura

〒070-0034
旭川市4条通7丁目つづじプラザビル地下1階
TEL&FAX 0166-21-4567
E-mail : rubber-s@beige.plala.or.jp

uni.plan

ユニバーサルプランニング株式会社

小林 信雄 (21期)

〒171-0033 東京都豊島区高田3-31-5
TEL 03-3984-4405 (建築部) TEL 03-3980-6200 (土木部)
FAX 03-3984-4415 E-mail: kobayashi.n@univ-plan.co.jp

元気で長生き!!
黒豆ポリフェノール飲料



黒豆 エキス

菊池食品工業株式会社 第7期生 菊池 幸
本社:東京都板橋区大山東町9-9 代表取締役会長
フリーダイヤル: 0120-028-960
マメニハ クロマメ

郷土北海道の絆! 信用と信頼!
移住(リターン)、不動産管理・相続・売買
等もお気軽に御相談下さい。イワクラホームは
伊藤忠商事とイワクラGの出資会社です。

イワクラホーム 検索

イワクラホーム株式会社
社長 佐々木 与三郎(西高の絆:第14期)

**四の五の
うるせえ
伍四人。**

視いてみてね! <http://www.anktd.com>

第36回東京同窓会
「日々是好日」
かけがえのない一日を
共に過ごしませんか
15期有志一同

医療法人社団
井内歯科医院
井内 恭夫 (15期)
〒247-0056
鎌倉市大船1-24-19
TEL 0467-45-5819

未経験から始める IT エンジニア
4週間で育成します!

ネットワーク構築・ソフトウェア開発
アクティブ・アイティ株式会社
代表取締役 **板倉 喬** (15期)
東京都千代田区:秋葉原駅
TEL.03-5294-2071
e-mail: itakura.t@active-it.co.jp

更科そば(道産のそば粉使用)
札幌にいらした際には是非お立ち寄りください。



蕎麦 傳
(そばでん)

代表取締役 **須藤 高司** (15期)
〒003-0028 札幌市白石区平和通6丁目南3-14
TEL 011-862-2000

一緒に日本語、教えませんか!
学校法人 KCP 学園
KCP 地球市民日本語学校
非常勤講師
山本 省吾 (15期)
〒160-0022 新宿区新宿 1-29-12
TEL.090-8454-7281
e-mail: yamamoto@kcp.ac.jp

段ボールは 21 世紀の理想的な資材です



株式会社 **片桐紙器**
本社 〒078-8272 旭川市工業団地2条2丁目2番地6号
TEL.0166-36-4585 FAX.0166-36-4466
紋別段ボール工場 〒094-0023 紋別市元紋別678番地19
TEL.0158-24-2358 FAX.0158-24-2706

東京浅草 お参りしやすい
永代供養墓
真宗大谷派 勝龍山 等覚寺
東京都台東区元浅草 2-10-17
03-3841-2844
浅草 永代供養墓 Q検索
荒川 繁 (20期) 在住のお寺

税理士 (20期)
荒 富 夫
TOMIO ARA
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2-5
駿河台ビル5階
電話 03(5283)6066 FAX03(3295)0620



皆が想う、霊墓公園の桜の香り、甘い思い出
東京 20 期会

シェアオフィス KOTO-BA
居心地のいい
大人のシェアオフィス
駅から徒歩 0 分
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-1 増ビル 3F/4F
03-5577-2987
info@koto-ba.jp
<https://www.koto-ba.jp/> KOTO-BA SHARED OFFICE

入会費おまけ おしゃれな一品 デザイン工房 **三島**
手づくり工房 & ギャラリー
デザイン工房 検索
20期 **松田広昭**
TEL 090-4028-5241
E-mail: matsuda-w@za3.so-net.ne.jp
URL: <http://www.design-subaru.com>
山梨県北杜市大泉町西井出 8240-1

鷺尾税務会計事務所 (19期)
税理士 **鷺 尾 元 成**
〒132-0035
東京都江戸川区西小岩 1-11-26
電 話 03(3683)8581
FAX 03(3638)1939
携帯電話 090-7733-9838

大宮公証センター
代表公証人 **高 瀬 一 嘉**
(25期)
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
ソニックシティビル 8 階
電話(048)642-4355 FAX(048)642-3101

SEINKO
代表取締役
藤 代 一 郎 (25期)
株式会社 宣伝広告
〒104-0061
東京都中央区銀座1丁目5番1号 第三太陽ビル3F
TEL:03-3564-1051(代) FAX:03-3564-3855
E-mail: fujishiro@esenko.co.jp



25期有志一同

私講談

ロボコップ・ムサシ参上！

三期生 大内 秀夫(画も)

パン・パンパン(張り扇の音)

時は昨年花咲く頃、椿山荘における旭川西高東京同窓会に出席出来ず、無念の涙を呑んだのであります。パン・パンパン

と申しますのも、永年かかわつてきたサツカー、チビッ子などしこた

ちの壮行会の挨拶後倒れ、救急車で運ばれ入院したからでございませ。心肺停止状態でしたが緊急人工呼吸処置のお陰で、アバラ骨十二本折れたが蘇生したのであります。パン・パンパン

親しくしてくれたI・O・C委員、元

日本サツカー協会会長、故岡野俊二郎氏のお別れ会にも出席出来ず、こんな状態を繰返してはまた幼い孫たちの倅せも見届けられまいと、年来の主治医の勧めもあり、心臓手術に踏み切りロボットに変身したのであります。パン・パンパン

もともと体が弱く母の姉妹の初めの男の子とチャホヤされ、閑さあれば絵ばかり描いていた文学好きの軟弱な子でありました。パン・パンパン そんなオレを鍛えてやろうと、幼馴染の元国会議員のSらが、西高蹴球部に誘ったのであります。

翌日の試合から即レギュラー。なんのこたあない。メンバーが足りなかっただけ。



サッカーと言っている現在と違って当時蹴球は、まだマイナーなスポーツでありました。パン・パンパン

元をただせば、生れも育ちも旭川は三六街で湯場を使った町奴。弱きを助け、弱きをくじく町奴(強きには危ないから近寄らず)。

だが、お待ちなせエ町奴。パン・パンパン

幡随院長兵衛は、風呂場で旗本奴の水野十郎左衛門の槍で、あえない最期。

粋な紫鉢巻の花川戸助六は、雨降りでもねエのにやたら蛇の目傘を振り回し、花魁揚巻の内掛けに隠れる軟派野郎。気に入らねエ。髭の意休の方が貫禄ありそうだ。止めた、町奴は。

そうだ。武蔵がいた！ ロボコップ・ムサシ！

六十余度戦うも、不覚をとったことなし。パン・パンパン

京の名門、吉岡剣法も約束の時間に遅れ、いらら動揺した清十郎、伝七郎と敗れ、最後の吉岡門、一乗寺下り松では、約束の時間より早く現れた武蔵に狼狽し、完敗す。

老かいの極みは、巖流佐々木小次郎を船島で待たせて、待たせて、待たせて……。

「遅いぞ武蔵！」といらいらした小次郎、罵倒し剣を抜き、鞘を海中に捨てた。それを見て、

「小次郎！敗れたり、勝つ身であればなぜ鞘を捨てた、惜しや小次郎、早や散るか」

と挑発を重ね、かつとした小次郎秘剣の燕返し、得たりや応と小次郎の長剣、物干竿“より長く削った櫓の木刀で必殺の一撃！

小次郎の息絶えたのを確かめるべく口到手をのべたが、実は挑発の時ツバを吹きかけ、証拠隠滅のため、ぬぐい取つたとの講釈師の説もあり。パン・パンパン

だから勝つた武蔵より、狡猾な戦術に敗れた小次郎に憐憫の情を抱き、人々は以後、船島を巖流島と呼んだ。パン・パンパン

いいんだ、いいんだ。生きてこそ人生だ。

晩年まで油断せず霊巖洞にこもり、五輪の書“(東京五輪にあらず)を著すまで生きのび、わが死屍に鎧を着せよ、と遺言したという。そこまで、生“に固持した武蔵にこそ、哀れを感じるが……。

ともあれ、ロボコップ・ムサシは今日もゆく。

お江戸の荒波を乗り越えて、「お通」じゃなかった、孫娘たちとのささやかな倅せを夢見て。

パン 一卷の終。

第35回総会報告／会計報告

平成28年度旭川西高東京同窓会会計報告

(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

平成29年6月8日

<収入の部>	実算	前年実算	前年比%	備考
・前年度繰越金	3,171,869	3,052,137		
・年会費	605,000	623,000	97	前年分 16,000
(当日分)	(251,000)	(266,000)		
(振込分)	(354,000)	(357,000)		
・その他	73,291	433,848		
(総会剰余金)	(64,591)	(371,288)		
(雑収入)	(8,700)	(62,560)		
計	3,850,160	4,108,985		
<支出の部>	実算	前年実算	前年比%	備考
・総会費	93,662	219,644	43	
・西高通信他送料	144,704	125,140	116	
・通信費	2,971	21,742	13	
・印刷・事務用品費	40,597	38,862	104	
・会議費	105,900	107,000	99	
・会費維持費	163,188	352,137	46	
・慶弔費	20,000	20,000	100	
・その他・雑費	114,450	52,591	218	熊本への見舞金含む
計	685,472	937,116		
残 高	3,164,688	3,171,869	100	

<監査報告>

上記会計報告は、証拠書類と照合・精査の結果、正確なことを確認致しました。

旭川西高東京同窓会

監事 大西 登喜雄 印

前実行委員長
34期 湯川 寛志



小雨降る春の一時、平成29年4月8日椿山荘で、同窓会総会を開きました。

「あけてみよう！心のタイムカプセルを」をテーマに参加者と一体となって総会を盛り上げようと、演劇を取り込んで若かった時の文化祭を思い出せた内容でした。

年々、若年期の参加人数が危ぶまれる中、26名の参加を頂きました。

ご参加頂いた300名以上の皆さま、西高通信への寄稿・広告協賛に快くご協力頂いた皆さま、ご支援頂いた執行部の皆さまありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

思い起こせば、1年掛りで準備していました。最初は、10名程度の有志でした、しかし、会を重ねるごとに仲間が増え総会当日には、多くの支援期の皆さまのご協力がいただけました。

編集後記

西高通信34号をお届けします。あいつ、今何してる？友を、西高を語ろうとテーマに多くの方々から原稿をいただき、また、開校110周年ということもあり、各地のイベント情報も頂戴しました。様々な形でご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

4月7日にお会いしましょう！ (編集担当25期一同)

また、旭川での同窓会にも参加しPRする事で、諸先輩方とも交流が出来、参加人数の確保が出来たと思います。同期のみんなも協力的で久々の再開と今後の連絡を継続する事を誓い合い繋がりが出来ました。大変でしたけど実行委員長をやり遂げた事で、今までの経験では味わえない達成感がありました。

単身赴任の私は、東京では、仕事だけしかなく周りとの競争で背伸びしながら、がむしやりに頑張つて来ましたが、東京に頼りになる方々が多くいる事が判りもつと頑張れる気持ちになりました。こんな素晴らしい旭川西高東京同窓会をこれからも続けられる様に、微力ながら関わって行きたいと思ひます。

本当にありがとうございます。